

令和3年度各部定期監査（後期）意見・要望事項等措置状況報告書

2 意見・要望事項

意見・要望	
<p>(1) 新型コロナウイルス感染症対策について</p> <p>2年2月に区内で感染者が発生して以来、感染者数増減の波が何度も続いている新型コロナウイルス感染症（以下、「コロナ」という。）対策においては、その波ごとに異なる特徴が見られ、健康推進部内はもとより都からの応援者も受け入れ、全庁調整による応援体制の構築等がされる中で、新たな取組を短期間に決め、感染者の生命を守る実践が行われてきた。</p> <p>感染症に係る諸状況が変わる中で、国や都から示される方針等への対応において判断が難しい局面もあったと思われる。例えば、コロナのワクチン接種については、当初の方針に基づき区が集団接種の検討や準備を進める中で、国から、当時はまだ明確でなかった個別接種との併用を含む事例が先進的取組の一例として急きょ提示されることなどもあった。その中で、何を優先して取り組むことが効果的かという観点で判断されていた。接種予約においてスマートフォンの普及に着目しコミュニケーションアプリLINE（ライン）を活用したこと、区報の特集記事や動画配信によりその操作方法を分かりやすく示したこと、かかりつけの診療所等での個別接種の拡大、集団接種会場における残余ワクチンを無駄にしないためのワクチン登録バンクなど、判断が難しい状況の中にあっても、順次、取組を具体化した。その中で、接種率の高さやその具体策に着目した報道記事も見られた。こうして日々努力を重ねてきたこれまでの経験を、さらに次につなげていっていただきたい。</p> <p>今後も、状況変化に伴う新たな課題が生じることも想定されるが、今般の取組において検討を重ねる中で得られた、地域の様々な医療関係者等の意思を発展的に具体化できるように努められたい。</p> <p style="text-align: center;">（健康推進課、感染症対策課、新型コロナ予防接種課）</p>	
所属名	措置状況等
健康推進課	<p>新型コロナウイルス感染症対策においては、医師会等の区内関係団体や区内病院及び診療所等との情報共有や連携が重要であり、新型コロナ連絡会等の開催や日頃の情報共有により、連携に努めた。</p> <p>引き続き、情報共有や連携に努めていく。</p>
感染症対策課	<p>これまでの新型コロナウイルス感染症対策で得た知見や課題を踏まえ、今後も地域医療の担い手である医師会・薬剤</p>

	師会・訪問看護ステーションなどの区内関係団体や区内病院、診療所等との更なる連携により、自宅療養者の病状に応じた医療提供体制の構築及び充実に努めていく。
新型コロナ 予防接種課	令和3年12月から開始した追加接種について、初回接種（1、2回目接種）同様、国の動向やワクチン供給を踏まえ、円滑な接種を行っていききたい。

意見・要望	
<p>(2) 新規及び拡充の取組に向けた改善努力と事務処理の点検等について</p> <p>コロナ対策に健康推進部全体で臨む中であっても、新規の実施や拡充などが求められる事業（駆除委託事業、予防接種事業、産後ケア事業等）への取組が並行して行われていた。その際、従前の業務を見直しつつ事業者への委託を新たに導入しようとする改善努力が見られる例もあった。今後も、引き続き取り組んでいきたい。</p> <p>なお、こうした新たな取組への努力が安定的に行われるためにも、契約や文書管理に係る事務について関係規定の確認などが欠かせない。健康推進部内の庶務担当課と各課が連携し、組織的で定期的な点検等を徹底することも大切であり、その取組に努められたい。</p> <p>(健康推進課、生活衛生課、保健予防課、碑文谷保健センター)</p>	
所属名	措置状況等
健康推進課	新規及び拡充などが求められている課題への対応については多くの調整や緊急を要する案件もあり、契約や文書管理に係る関係規定を部内に周知徹底し、効率的・安定的な事務に努める。また、健康推進部内の研修や部内課長会を活用するなど、機会を捉えて適切な事務処理に向けた周知徹底を図る。
生活衛生課	生活衛生課では、令和2年度から新規事業としてスズメバチの巣の駆除に取り組んでいる。こうした新たな事業において、契約や文書管理に係る事務について、関係規定を十分に確認し、適切な事務処理を徹底するとともに定期的な事業の点検等に努めていく。
保健予防課	新規および拡充の事業の改善に努めるとともに、契約や文書管理に係る事務について、関係規定の確認等を継続的に行い、確実に実施していく。
碑文谷保健センター	限られた行財政資源の中で、適切に課題を解決していくため、新規事業等の検討にあたっては、スクラップ・アンド・ビルドを徹底し、事業執行方法の改善など組織執行体制の効

	率化を図っていく。また、事務処理の適正化については、部内各課で調整の上、連携して改善に取り組む。
--	--